

みんなぱく



平成26年度

みんなぱく若手研究者 奨励セミナー 募集要項

平成26年

11月26日[水]～28日[金]の3日間

国立民族学博物館 第6セミナー室(2階)

「包摂と自律の人間学 — 宗教と社会的つながりをめぐって —

本年度の若手セミナーでは、本館の機関研究「包摂と自律の人間学」をテーマに、宗教と社会的つながりの関係を扱う研究を募集します。

近年の人文・社会科学では、グローバル化の進展や新自由主義の浸透に伴い、社会的つながりの減退と責任の個人化が起きているという認識が一般的になりつつあります。

それと呼応するかたちで、宗教が人々をつなぐ働きをもつことにもあらためて注目が集まっています。

ここで言う宗教には、長い歴史を経て体系化された宗教だけではなく、講や新興宗教、民間信仰や社会思想も含まれます。

これらの宗教は、人々をつなぐ働きをもつ一方で、つながりの範囲を限定する理由を人々に与えることもあります。

また、宗教を基盤とした人々のつながりは、顔の見える範囲に収まることもあれば、ナショナリズムと密接に結びつくことや、国家を超える動きを見せることもあります。

本年度の若手セミナーでは、人々のつながりを生み出し、また、それを限定する宗教の働きについて人類学的発想に基づいて議論することを目指します。



■ セミナーの内容

- ①本館の共同利用制度の紹介(共同研究(若手)など)
- ②施設案内(図書室、展示場、収蔵庫など)
- ③本館教員による発表(各60分)
 - i) 菅瀬晶子「聖者崇敬をめぐるムスリムとキリスト教徒、ユダヤ教徒の共存と反発—イスラエル・パレスチナとレバノンの事例」
 - ii) 杉本良男「南インドにおける津波災害と社会的つながり」
- ④参加者による研究発表
50分(発表30分、質疑応答20分)の持ち時間のなかで研究発表をおこない、質問・コメントを受ける。

■ 表彰制度

- ①優秀発表者の選定: 優秀発表者を選定し「みんなく若手セミナー賞」を授与する。受賞者はHP等で公表する。
- ②セミナー終了後、参加者の発表要旨はHP等で公表する。また、参加者は全員『国立民族学博物館研究報告』(査読有)への投稿資格を得る。

■ 応募資格

日本国内の大学院博士後期課程の大学院生あるいはPD、または左記に相当する研究歴を有し、積極的に参加する意志を持つ者。
※ただしフィールドワークに基づく研究発表をおこなうことが望ましい。

■ 募集人数 約10名

■ 参加費 無料(参加者には人間文化研究機構の規定にもとづき旅費・宿泊費を支給)

■ 応募方法 以下の書類を応募先に郵送する。

- ①履歴書(所定の様式をHPよりダウンロード)【URL】<http://www.minpaku.ac.jp/offer>
 - ②発表要旨(1200字程度で発表内容を記載、様式自由)
 - ③その他の要望
- ※特別な補助等が必要な場合には、その旨明記すること。

■ 応募/お問い合わせ先

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10-1
国立民族学博物館 研究協力課共同利用係 宛
kyodok@idc.minpaku.ac.jp 06-6878-8347(ダイヤルイン)
【URL】<http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/news/youngseminar>

■ 応募締切

平成26年9月26日[金] 必着

■ 参加者の決定

応募書類にもとづき本館研究戦略センターにおいて選考の上、10月中旬に通知する。

■ その他

- ①セミナー開催期間中の宿泊場所は、各参加者が手配すること。
- ②参加者はセミナーの全日程に参加すること。
- ③応募書類は返却しない。

写真提供: 加賀谷真梨、吉田ゆか子、菅瀬晶子

国立民族学博物館

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」徒歩約15分
*自然文化園窓口で、当館の観覧券をお買い求めください。
同園内を無料で通行できます。
- 「公園東口駅」徒歩約15分
*自然文化園(有料区域)を通行せずに来館できます。
- バス……………[近鉄バス](阪大本部前行き)阪急茨木市駅から約20分、JR茨木駅から約10分「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車……………万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分
*「日本庭園前ゲート」横にある当館専用通行口をお通りください。



[大阪・万博記念公園]
〒565-8511
大阪府吹田市千里万博公園10番1号
Tel:06-6876-2151(代)
<http://www.minpaku.ac.jp/>

